

平成25年度「みえの現場・すこいやんかトーク」(津市)の概要

9月7日(土)に津市の三重県津庁舎で「みえの現場・すこいやんかトーク」を開催しました。

当日は、「ソフリエみえ」の皆さん7名の方にお集まりいただき、活動内容や将来への思い、行政へ期待していることなどについて、ご意見などをお伺いしました。



【参加者からの発言】

参加者の皆さんから、以下のようなご意見をいただきました。

- おじいちゃんの子育てグループ自体が珍しいこともあり、マスコミで報道され、注目されている。その話題が、私の地元の津市一志町にも聞こえているらしく、一志町にも来て欲しいとの声があがり、地元でも活動するようになった。放課後児童クラブにも活動が広がり、社会に貢献していることに充実感がある。
- シニア世代の子育て支援セミナーに参加した後、将来、孫が生まれた時のことを考えて役に立つと思い、「ソフリエみえ」に参加した。皆でやっていて楽しく充実を感じている。
- 私には孫がないが、小さな子どもと遊ぶのはどんな感じだろうと思い、参加している。竹細工、木工細工を教えると、子どもたちが喜んでくれるので嬉しい。小学校で伊勢型紙も教えたが、これも喜んでくれる。
- 私は、自ら楽しんで活動に参加している。そのうえ人から感謝され、申し分ない。

買ってきたものではなく、手作りのもので一緒に遊ぶことが大事だと思う。一緒に遊んだ後、子どもたちに笑顔で「ありがとう」と言われ、こんな嬉しいことはない。民生委員として、高齢者や障がい者のために月に20日間ほど活動している。民生委員は無報酬で活動費が少しある程度だが、社会のために頑張っている。あのう子育て支援センターには保育士が3人いるが、皆女性なので、「ソフリエみえ」の皆さんに何かと助けてもらっている。おじいちゃん、おばあちゃんは、その場にいただけでほっとする存在。「ソフリエみえ」の存在自体が子ども達への支援になっていると感じる。今後、中学生と三重大学医学部の先生、県立看護大学の先生が、子ども達と交流するイベントも開催することになり、交流の輪が広がっている。

Q、子どもや赤ちゃんに触れ合うことに戸惑いはなかったか？

子育てに関するセミナーなどを受講することで、戸惑いは少なくなる。団塊の世代をはじめ、定年した世代が活躍してもらうために、行政で子育て、防災などさまざまなテーマでセミナーや講習会をしてもらうことが重要ではないか。子どもの笑顔で疲れがなくなり、元気が出る。子どもや赤ちゃんに触れると、老化防止にもなる。

Q、この活動をより良くしていくための課題は何か？

メンバーを増やしたいと思うが、なかなか難しいことが課題である。また、活動資金は全て自己負担なので、せめて材料費などの補助があると助かると思う一方、行政からの支援をもらうと義務的になるのではないかと感じる。子育て支援センターに来れる人は良いが、来られない人をどう支援していくかが課題だと思う。子育て支援のために関係者がつながっていくことが重要。

【知事の発言】

皆さんからのご意見を受け、知事からは次のような発言がありました。

私にも1歳3ヶ月の息子がいるが、私や妻が不在の時は、祖母が面倒を見てくれており、祖母も不在の時は、祖父が面倒を見てくれている。このように祖父や祖母などが助けてくれる場合は良いが、そうでない場合は、母親が孤立をしないように、あらゆる手段を講じて子どもの育ちを支えていくことが重要である。私も短期間ではあるが育休をとった。今も帰宅すると毎日、息子を風呂に入れたり、食事をさせたりしている。子育ての自信が付き、自分自身、成長させてもらっていると感じる。県でも「わくわくフェスタ」などイベントを行っているが、イベントに来てくれる方は比較的大丈夫で、本当に支援の必要な人をどう助けていくかが行政の課題であると感じる。

私が経済産業省職員だった頃、企業の人事制度を調査するため、スターバックスコーヒーに聞き取りを行ったことがある。スターバックスコーヒーは正規職員だけではなく、アルバイトも含め、お客様への対応が素晴らしいことで有名であるが、人事部長に「採用のポイントは何か」と尋ねた。人事部長によると、採用面接の際に「おじいちゃん、おばあちゃんと一緒に住んだことがあるか」という質問をし、おじいちゃん、おばあちゃんと一緒に暮らしたことのある人を優先的に採用する、と

のことだった。これは、多様な価値観や世代の人と交わることで、人間の幅は広がるという観点だと思う。今日は皆さんとお話をして、そのことを思い出した。三重県の子どもたちに幅のある人になって欲しいので、皆さんのような活動が、これからもどんどん広がって欲しいと思うし、県としてもサポートしていきたいと思う。



【「ソフリエみえ」の皆さんとは】

お爺ちゃんと孫、地域の子どもや親との触れ合いイベント等を通じ、お爺ちゃんが老後の生きがいを感じながら、豊かな「ジイジイの知恵」を現在の親や未来の大人に伝承することを目的としています。世代を越えて地域の知識・技能を活かし合う地域社会の実現をめざしている皆さんです。